

科目名	経営組織 B Organization Theory B		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・月・4 限	春・月・5 限	-	-
担当教員名	平松 庸一			
<p><講義の概要と目的></p> <p>経営資源の中でもヒトの重要性は極めて高いといえます。「企業はヒトなり」とよく耳にするように、モノ・カネ・情報はヒトがこれらを活用して初めて価値を生み出すからです。本講義では、経営組織における人的資源に焦点を当てながら、組織行動論、人的資源管理論を視野に入れて探求します。本稿義では、学的知識と実践知の融合を通じて、組織における人に起因するさまざまな問題を具現化し、自分なりに解決へと導くシナリオの策定ができる実践能力の習得を目指します。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 週目：講義概要（講義のねらい、テキスト、評価方法等）の説明後、本講義の進め方（講義形式、ファシリテーション&ディベート）を体感していただきます。組織行動論、人的資源管理論の概論</p> <p>2 週目：働くことの意味 社会が多様化するなか労働観も多様化しています。現代的文脈から働くことの意味を学びます。</p> <p>3 週目：組織における人的資源 経営組織において人は大切な経営資源です。経営資源としての人的資源に焦点を当てて学びます。</p> <p>4 週目：モチベーション理論の概観 様々なモチベーションの考え方を俯瞰します。</p> <p>5 週目：モチベーションの内容理論 モチベーションの内容に焦点を当てた理論を学びます。</p> <p>6 週目：モチベーションのプロセス理論 モチベーションがいかに関形成されるのかをプロセスに焦点を当てて学びます。</p> <p>7 週目：目標設定理論と社会的学習理論 「目標による管理」がなぜ運用段階で失敗するのかを理論を通じて議論します。</p> <p>8 週目：リーダーシップ理論の概観 様々なリーダーシップの考え方を俯瞰します。</p> <p>9 週目：リーダーシップの特性理論と行動理論 リーダーシップは先天的なものか、後天的なものかを学びます。</p> <p>10 週目：リーダーシップのコンティンジェンシー理論 リーダーシップの有効性をさまざまな状況を想定して学びます。</p> <p>11 週目：変革型リーダーシップ理論 イノベーションを創出するリーダーシップについて議論します。</p> <p>12 週目：関係性によるリーダーシップ理論 対話が生み出す組織マネジメントの有効性を講義します。</p> <p>13 週目：人材マネジメント（1） 人材マネジメントの歴史的発展プロセスを概観します。</p>				

14 週目：人材マネジメント（2）

競争（competition）と協創（collaboration）の両視点から人材マネジメントを比較し講義します。

15 週目：人材マネジメント（3）

多様性のマネジメントを議論します。

<講義の進め方>

講義形式と討議形式（ファシリテーション&ディベート）の両方を取り入れ、可能な限り受講生との双方向なコラボレーションを追求したいと考えています。毎回時間配分は、60 分の講義と 30 分の討議を目安に進める予定です。

<教科書及び教材>

講義資料（テキスト&プレゼン資料）は、学内 SNS に該当講義の 5 日前までにアップします。適宜各自の必要に応じてダウンロードして使用してください。

<参考書>

- ・ Latham, G. (2007), Work Motivation, Sage Publications, Inc. London. （金井壽宏監訳、依田卓巳訳『ワーク・モチベーション』NTT 出版, 2009）
- ・ Stephen, R. (2005), Essetials of Organizational Behavior, 8th Ed. （高木晴夫訳『組織行動のマネジメント』ダイヤモンド社, 2009）

上記以外にも適宜講義のなかで紹介いたします。

<成績評価方法>

- ・ 欠席 6 回以上は成績評価しない。
- ・ 授業への貢献度：プレゼンテーション：最終レポート＝4：3：3 とします。

<履修条件> 特になし。

<DVD による視聴> 可

<オフィスアワー> e-mail で対応します。

<その他> 特になし。